

令和 7 年度学校運営連絡協議会実施報告書の記載事項について
令和 7 年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立拝島高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 教諭（総務担当）＝事務局長 計 1 名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任、進路指導主任、2 学年主任）、主任教諭（生活指導主任、1 学年主任、3 学年主任） 計 9 名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
昭島市子ども未来課係長、昭島市多摩辺地区補導連絡会委員長、昭島市自治会連合会第 10 ブロック顧問、人権擁護委員、昭島警察少年係警部補、昭島市立中学校長（2 名）、PTA 会長 計 8 名

2 令和 7 年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第 1 ～ 3 回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第 1 回 令和 7 年 6 月 19 日（木）内部委員 9 名、協議委員 7 名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第 2 回 令和 7 年 11 月 18 日（火）内部委員 9 名、協議委員 6 名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第 3 回 令和 8 年 2 月 17 日（火）（書面開催）
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第 1 回 令和 7 年 6 月 19 日（木）内部委員 1 名、協議委員 1 名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第 2 回 令和 7 年 11 月 18 日（火）内部委員 1 名、協議委員 1 名
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第 3 回 令和 8 年 2 月 17 日（火）（書面開催）
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・ 1 月 全校生徒 対象：752 人 回収：661 人 回収率：88%
 - ・ 1 月 保護者全員 対象：752 人 回収：614 人 回収率：82%
 - ・ 1 月 地域（近隣商業施設） 対象：211 人 回収：50 件 回収率：24%
 - ・ 1 月 教職員 対象：48 人 回収：31 人 回収率：65%
- (3) 主な評価項目
 - ・ 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフワークバランスの推進、超過勤務などの評価項目を設定しアンケート調査を実施した。
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・ 生徒はおおむね本校の授業に対して満足しているが、学力の高まりを感じる割合はやや低い。
 - ・ 生活指導は、保護者から 80%以上の支持率を得ている。
 - ・ 校内における取組について、そもそも知らない地域の方の割合が多かった。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・ 「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。
 - ・ 学校における教育活動を、ホームページ等を通じて学校外に周知していくことが必要である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施や充実が必要であると認識できた。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・近隣の住民は、学校の教育機能をより一層活用したいと望んでいることが分かった。
- ・地域の人材活用を一層推進するとともに公開講座等の拡大・充実が必要である。
- ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して、ホームページ等を通じて情報提供すべきである。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（１）学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会があるたびに学校の教育方針を説明し、理解を得る。
- ・教職員に対して、学校の教育方針や教育課題の共通理解と、それに基づく教育活動の充実に向けて、研修会や職員会議等で繰り返し説明し、進捗状況の確認や情報共有を行う。

（２）学習指導

- ・現在取り組んでいる下位層向けの基礎ゼミを継続するとともに、中上位層向けの発展ゼミについて、分野や内容を工夫し、より多くの生徒が学力向上の場として利用できるよう、見直しを検討する。そして、総合型選抜や一般入試向けの指導を進路指導部や学年と協力して行う。

（３）生活指導（学校行事・部活動含む）

- ・教職員が指導する際に頭髮の状態やスマートフォンの指導基準と対応の統一を徹底する。また毎月身だしなみ指導を実施し、毎朝昇降口に立って学期毎に遅刻会数を確認して遅刻の減少を目指す。
- ・生徒が校則や制服などの改正に向けて積極的に動けるように環境整備したり、生徒会活動や生徒総会においても活発な議論ができるようにしたりして、適切な指導・助言を行う。
- ・いじめや盗難などの問題行動に講演会や集会、アンケートや面談を通じて未然防止に努めたい。またその取り組みを本校ホームページ等で広く周知する。

（４）進路指導

- ・キャリア計画に基づき、計画的な進路指導を実施する。きめ細やかな面談や進路希望に応じた進路講座を充実させる。

（５）健康・安全

- ・自転車通学者全員に対しヘルメット着用を促し、交通ルールやマナーの遵守について指導を徹底する。また、昭島警察や地域の方との情報共有を推進する。
- ・特別支援教育委員会を定期実施し、個に応じた指導のために情報共有の充実を図る。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（１）協議委員人数 8人

（２）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
2	3					3

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】

- ・委員の意見を参考に、地域防災訓練などで地域との交流機会を設けたり、サブグラウンドやテニスコートの地域への開放等を行ったりと、連携強化を深めた。

8 その他

- ・保護者、地域へのアンケートに、本校の取組をまとめた資料を添付した。また、QRコードと紙面での回答方法を準備し、リマインドを実施することで回収数を高めることができた。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。